

〔例題 1〕 薬物のタンパク結合に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ワルファリンは、血中に入ると極めて速くアルブミンに結合し、その反応は不可逆的である。
2. 血漿中でアルブミンに結合したイブプロフェンは、生体膜を通過することができない。
3. インドメタシンは、 α_1 -酸性糖タンパク質との親和性が、アルブミンとの親和性よりも高い。
4. リドカインは、アルブミンとの親和性が、 α_1 -酸性糖タンパク質との親和性よりも高い。
5. ジアゼパムは、アルブミン分子上の結合サイト I に結合する。

〔正答 2〕

〔例題2〕 片頭痛とその治療に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 片頭痛の患者は、女性よりも男性の方が多い。
2. 遺伝的要因は、片頭痛の発症に無関係である。
3. 片頭痛発作の主な誘因は、ヒスタミンである。
4. 非ステロイド性抗炎症薬は、片頭痛の治療に用いられない。
5. 片頭痛発作の急性期の治療には、トリプタン製剤が有効である。

〔正答5〕